

2 学 年 の 実 践

1. 単元名 とびだせ！ 大くらたんけんたい

2. 指導観

- 本単元は、学習指導要領の(3)「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」(4)「公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切に、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。」(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心し、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い、身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにする。」を受けて設定した。

地域は、児童にとって生活の場であり、学習の場である。本単元では、児童が川やまちへ出かけていき、そこで生活したり働いたりしている人と話したり、いっしょに活動したり、施設を調べたりすることを通して、それらが自分たちの生活を支えていることや楽しくしていることが分かり、大蔵のまちに親しみや愛着をもつことをねらっている。また、人々と適切に接することや安全に気を付けて生活することができるようになることもねらっている。見つけたことや自分の思いなどを身近な人々と伝え合う活動を行うことで、互いに認め合ったり、振り返りとらえなおしたりして、気づきを自覚させる。その中で、人とかかわることの楽しさを感じ、身近な人々と進んで交流できるようになることを願って、この単元を設定した。

- 指導にあたっては、大蔵のまちの多様な魅力やよさを主体的に交流し、地域の対する愛情と誇りを深めることができる学習とするために、学習過程の各段階において、次のような手立てを講じる。本単元で取り上げる「地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所」とは、豊町周辺の田や畑、神田市場の商店やそこで働く人、公園や大蔵市民センターなどの公共施設やそこを利用したりそこで働いたりしている人、大蔵保育園や乳山幼稚園の園児・先生、大蔵川などである。探検にあたっては、川探検とまち探検の2つの内容で構成する。

①「出会う」段階…体験活動の設定【手立て1】及びお互いの考えを出し合い、探検への意欲を高める場面の設定【手立て2】

1年生の時に遊んだ大蔵川や勝田公園に行ったことなどを振り返り、川や公園などのお気に入りの場所をあげ、地図にまとめていく中で、「今度は行ったことのない○○へ行ってみたい。」という意欲を喚起したい。そして、自分たちの大蔵のまちに目を向けさせ、大蔵のまち探検への意欲付けを図る。

②「ふれあう①」段階…対象と多様にかかわる体験の重視と様々な感覚で感じる体験活動の設定（手立て1）及び探検後の話し合いを通した、気づきの質を高める探究的・共同的に学び合う活動の重視【手立て2】

まず、オタマジャクシを育てる際に水草を探すなどした、児童にとって馴染みの深い大蔵川から探検を始める。川の上流へ行くにつれて、川幅や周りの景色が変化することに気付かせたり、大蔵川探検の途中で、地域の人々と出会わせたりする。そして、「大蔵にはこんな場所があるんだ。こんな人がいるんだ。他の場所にも行って、いろいろな人に会ってみたい。」という気持ちにつながっていくようにする。

③「ふれあう②」段階…対象と多様にかかわる体験の重視と様々な感覚で感じる体験活動の設定【手立て 1】及び「大蔵のまち探検発表会」を通した、気付きの質を高める探究的に学び合う活動の重視【手立て 2】

1 回目のまち探検を行う。みんなで行きたい場所を出し合い、そこを探しながら大蔵のまちをみんなで歩く。探検後、一人一人が興味や関心をもったところを発表し合い、もう一度行ってみたい場所、知りたいこと、聞きたいことなど自分のめあてを決めさせる。2 回目のまち探検では、目的地別にグループ編成を行い、探検に出かける。その際、探検で出会った人に名前を覚えてもらうために、自分で作った名刺を渡すようにする。探検後には、カードに気付いたこと、聞いてきたことなどを絵や文で書かせ、活動を振り返らせ、発表会を行う。そこで、さらに詳しく聞きたいこと、見たいこと、もっと調べたいことを考えたり、友達の発表を聞いて興味をひかれた場所について、もう一度探検したいという意欲を高めたりする。

④「ふかめる」段階…対象と多様にかかわる体験の重視と様々な感覚で感じる体験活動の設定【手立て 1】

3 回目の探検に向けてのグループ分けを行い、探検を実施する。地域で生活したり働いたりしている人々の姿を見たり聞いたりして、様々な人たちが自分たちの生活にかかわっていることに気付けるようにしたい。大蔵の川、次にまちと探検を繰り返すごとに、探検で出会った「人とのかかわり」や探検で出会った「対象とのかかわり」が深まるような活動になるようにしていきたい。

⑤「広げる」段階…多様な見方や考え方交流する発表会の場の設定の工夫【手立て 2】及び目指す具体的な子どもの姿の明確化・連続的、長期的な見取りを生かした支援とポートフォリオを使った自己評価・他者評価の工夫【手立て 3】

地域の人と繰り返しかかわったことや、そのかかわりを通して分かったことなど、自分にとって心に残った出来事や探検で見つけた大蔵のまちの「すてき」と思ったことを、新聞やポスター、紙芝居など伝えたいことに応じた方法で表現する場を設定する。友達や地域の身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々とかかわることの楽しさが分かるとともに、地域の人々と進んで交流することができるようにしたい。また探検でお世話になった人に、自分で考えた方法でお礼の気持ちを伝えるようにし、これからも地域の人々と仲良くしていこうとする気持ちを育てたい。そして自分が住んでいる大蔵のまちが好きになり、探検後も積極的に地域とのかかわりを深めていこうとする児童を育てたい。

また本単元では、学習指導要領を踏まえて、大蔵市民センターを実際に利用し、ものや施設、人とかかわりながら、利用の仕方などについて考えることや、探検で気付いたことを身近な人々と手紙・電話・FAX・新聞・ポスターなどで伝え合う活動を繰り返して行い、互いのことを理解し合い、心を通わせ、かかわることの楽しさを実感させることを重視したい。

3. 単元目標 学習指導要領の内容 (3) (4) (5) (8)

- (1) 「大蔵のまちのこと」を紹介しよう。・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 時間
- (2) 大蔵のまちの川を探検しよう。大蔵市民センターに行こう。・・・・・・ 12 時間＋課外
- (3) 大蔵のまちを探検しよう。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18 時間
- (4) 大蔵のまちの「すてき」を知らせよう。・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 時間

生活への関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大蔵の地域の人々や、大蔵川などの様々な自然や場所に親しみや愛着をもってかかわり、生活の場を広げ、楽しく生活しようとする。 ○ 地域の秋の自然や人々とそのくらしの様子の変化、行事等に関心を持ち、それらを見たり調べたりしようとする。 ○ 公共物や公共施設に関心を持ち、利用のきまりやマナーに気を付けて正しく利用したり、施設を支える人々とかかわったりしようとする。
--------------	---

活動や体験についての思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ○ 繰り返し見たり聞いたり、体験したりする活動を通して、地域の人々や様々な場所と自分の生活とのかかわりが分かり、さらにかかわりを広げたり深めたりすることによって、地域に親しみをもつことができる。 ○ 探検して気付いたことや思ったことなどを、自分なりに工夫して表現することができる。 ○ 公共施設の利用の仕方やマナーの大切さが分かり、安全に気を付けて正しく利用することができる。
身近な環境や自分についての気付き	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大蔵の地域で親しくなった人や好きになった場所が増えたり、人と適切に接することができたりした自分や友達のよさや頑張りに気付く。 ○ 大蔵のまちのよさや、身近な人々とかかわる楽しさに気付く。 ○ 公共施設が、みんなで使うものであることや、その利便性、それを支えてくれている人々がいることに気付く。

4. 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> ○ 大蔵の地域の人々や様々な場所に親しみや愛着をもってかかわり、新たな事象を探したり発見したりしながら、自分の力で意欲的に探検しようとしている。 ○ 公共物や公共施設に関心をもち、利用のきまりやマナーに気を付けて正しく利用したり、挨拶したり話しかけたりするなど、施設を支える人々とかかわろうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検の計画・準備や地域の人とのかかわり方などを自分で考えながら行うことができる。 ○ まち探検をして気が付いたり思ったりしたことなどを振り返り、伝える内容に応じた伝え方を選び、伝え合うことができる。 ○ 公共施設の利用の仕方やマナーの大切さが分かり、安全に気を付けて正しく利用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大蔵の地域に愛着のある場所が増えたり、様々な人に働きかけたり、いろいろな場所に行ったりすることができた自分や友達の頑張りに気付いている。 ○ 大蔵のまちや人とかかわって生活すると楽しいことに気付いている。 ○ 公共施設が、みんなで使うものであることや、その利便性、それを支えている人々がいることに気付いている。

5. 学習指導計画（総時数 38 時間）

	主な学習活動	指導上の留意点	評価の観点・具体的な子どもの姿
で あ う	<p>1. 「大蔵のまちのこと」を紹介しよう。 〔2 時間〕</p> <p>(1) お気に入りの場所や人をカードに書いて、地図に貼る。 ①+常時</p> <p>(2) お気に入りの場所を探検する計画を立てる。 ①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大蔵のまちや人に目が向くように、通学路探検をしたり大蔵川などで遊んだりしたことを振り返り、お気に入りの場所や好きな人を出し合い、校区地図に貼る。 ○ 一年生の時、川に入って遊んだ思い出や水辺の生き物に関心をもち、大蔵のまちの中心を流れる大蔵川から探検を開始する計画を立てる。 	<p>【関】大蔵のまちについて興味を持っている。 (カード・行動観察・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大蔵のまちのお気に入りの場所や人について進んでカードに書いたり話したりしている。 ・友達の話に関心をもち、聞いて聞いている。 <p>【関】自分の思いをもち、探検に行くことを楽しみにし、計画を立てている。(行動観察・発言)</p>

ふ れ あ う	<p>2. 大蔵のまちの川を探検しよう。大蔵市民センターに行こう。</p> <p>〔12時間+課外〕</p> <p>(1) みんなで大蔵川を探検する。 ⑧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校前付近の川（中流）② 9月6日(木) ・ 豊町公園前の川（上流）② 9月11日(火) ・ 河内貯水池まで（上流）② 9月13日(木) ・ 大蔵一丁目まで（下流）市民センターに行っ て、市民センターのこ とを聞いてみよう。 ② 9月28日(金) <p>(2) 市民センターに行っ てみよう、使ってみよ う。（課外）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検の際の安全や公共の場所でのルール，挨拶などについて確認する。 ○ 川での遊びを工夫している子どもを称賛し，全体に広げるようにする。 ○ 学校前付近と豊町付近との川の様子の違いを見つける中で，もっと遠くまで行ってみたい，川はどこまで続いているか調べてみたいという意欲を引き出す。 ○ 大蔵で唯一広がる田園風景や，山道の緑の深さや陰しい川の流れに目を向けさせ，学校前付近との風景の違いに気付かせる。 ○ 田んぼで働いている人から話を聞き，身近な環境とは違う生活があることや自然に囲まれた大蔵のまちのよさに気付かせる。 ○ 途中で醤油屋に寄り，大蔵にこんなすてきな場所や人がいるのだということに気付かせる。 ○ 「野菜の苗を買った丸川さんや片岡フルーツの方に会ってみたい。」「児童たちの好きな市民センターに行ってみよう」という思いをもとに，全員で市民センターまで探検に行く。 ○ 市民センターの方から利用のルールやマナー，だれでも利用できることや利用者とふれあう会があることを伝えてもらい，再度訪れることへの意欲化を図る。 ○ 知りたいことや疑問に思ったことを，職員や利用者などにインタビューするようにする。 ○ 授業以外で，土曜学級に参加したときのことなどを，朝の会で伝え合うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年生で言った場所や人を思い出しながら発言している。 ・ 行ってみたい理由を言っている。 <p>【関】川の遊びについて興味をもっている。（行動観察）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで川の自然を利用して遊んでいる。 ・ 見つけた生き物などを友達に見せ，説明したり，友達が見つけた生き物を見せてもらったりしている。 <p>【気】学校前の川と上流の川とでは，自然の様子が違うことに気付いている。（カード・発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚だけでなく，様々な感覚を使って違いを探している。 <p>【関】自分の思いをもって意欲的に探検しようとしている。（行動観察・発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田んぼで働いている人に進んで質問している。 ・ 「だんだん○○になってきた。」などのつぶやきがある。 <p>【思】市民センターの利用の仕方やマナーの大切さが分かり，安全に気を付けて，正しく利用することができる。（行動観察・発言）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民センターの方や利用している方に挨拶をしたり，丁寧な言葉遣いをしながらかかわったりしている。
------------------	---	---	--

<p>①</p> <p>ふ</p> <p>れ</p>	<p>(3) 探検で見つけたことや気付いたことをカードに書き,知らせ合う。(各探検が終わった後) ④</p> <p>3. 大蔵のまちを探検しよう。 [18時間]</p> <p>(1) みんなで,まちを探検しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 羽衣方面 ② 9月18日(火) ・ 牛山方面 ② 9月21日(金) <p>(2) 探検で見つけたことや気付いたことを発表し,カードに書き,知らせ合う。 ②</p> <p>(3) もう一度行きたい場所を探検する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2回目の探検の計画・準備をする。 ① ・ 探検に行くところに依頼状を渡しに行く。手紙・FAX(放課後) ・ 返事を受け取る。手紙・FAX・電話など 	<p>○ 大蔵川探検で見つけたすてきな場所や人,自然の様子などを自分の言葉で工夫して友達に知らせるようにする。</p> <p>○ 発表のときは,自信をもって発表できた子どもを称賛し,全体に広げるようにする。</p> <p>○ みんなでまちを歩き,互いに行ってみたい場所を出し合う中で,それらに目が向くことをきっかけに,大蔵のまちの様々な場所に興味を持たせるようにする。</p> <p>○ 途中で出会う人とふれあわせることをきっかけに,その人にもっと詳しく聞いてみたい,仲良くなりたいという気持ちをもつことができるようにする。</p> <p>○ 大蔵のまち探検で見つけたすてきな場所や人などを自分の言葉で工夫して友達に知らせるようにさせる。</p> <p>○ まちの人と仲良くなるために,名刺を渡すようにする。</p> <p>○ 自分がどの場所に行って,だれと仲良くなったり,どんなことを聞いたりしたいのかを明確にするように声かけをする。</p> <p>○ 行きたい場所ごとに,グループ分けを行い,計画を立てる。</p> <p>○ 探検するにあたっては,児童の安全を第一に考え,必要に応じ,他の先生や保護者などに協力を仰ぐ。</p> <p>○ 返事が届いたら,各グループに伝え,探検への意欲を高める。</p>	<p>【思】川の探検で気付いたこと,見つけたことなどを,自分の言葉で表現することができる。(発言・カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚だけでなく,肌で感じたことや思ったこと聞こえてきたものなどを,自分の言葉で表現している。 ・ 友達に分かりやすく,伝えようとしている。 <p>【関】自分の思いをもって意欲的に探検しようとしている。(行動観察・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで目的の場所を探そうとしていたり,地域の人に挨拶をしたりしている。 <p>【気】大蔵にたくさんの自分の知らない場所があったり,人がいたりすることに気付いている。(発言・カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「今度はもっと,〇〇を探検したい。」や「〇〇さんと,もう一度話してみたい。」と呟いたりカードに書いたりしている。 <p>【関】意欲的に探検計画を立てている。(発言・カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞いてみたいことや詳しく見てみたいことを考えている。
----------------------------	---	---	---

<p>深 め る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 堀口鮮魚店の堀口さん ○ 泰海の中山さん ○ あじさいの竹内さん ○ 万味の上田さん ○ 大蔵交番のお巡りさん ○ サンキュードラッグの梅崎さん ○ ミニストップの中野さん ○ 杉の実保育園の先生 ○ 乳山幼稚園の先生 ○ 醤油屋の宇佐美さん <p>(6) もっと仲よくなりたい人に会いに行ったり、もう一度行きたい場所に探検に行ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ まちの人から届いた返事を受け取り読む。 (朝自習) ・ 3回目の探検の計画・準備をする。 ① ・ 探検に行くところに依頼状を渡しに行く。 手紙・FAX・ポスター (放課後) ・ 3回目の探検に行く。 ② <p>(7) 探検で見つけたことや気付いたことをカードに書く。 ①</p>	<p>は、カードやメモに書いていたことなどをもとに声かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の発表を聞いて、もう一度行ってみたい場所や、くわしく知りたいことについて話し合うことで、次の探検をしたいという意欲を高めていくようにする。 ○ 探検でお世話になった人から返事が届いていることを伝え、もう一度会いたいという気持ちを引き出すようにする。 ○ もう一度行きたい場所ごとにグループ分けを行い、探検の計画を立てる。 ○ もう一度行きたい場所に依頼状を書く際、一緒にしてみたいことを書き、打診しておくようにする。 ○ 探検するにあたっては、児童の安全を第一に考え、必要に応じ、他の先生や保護者などに協力をあおぐ。 ○ かかわりが少ない児童には、地域の人々と積極的に関わることができるように声をかけて励ましたり、助言したりする。 ○ 探検で見つけたことや気が付いたことが記録できるように、探検カードを準備しておく。 	<p>詳しく知りたいことを質問している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の発表のよさやがんばりに気付いている。 <p>【思】今までの探検で学んだことを生かして、探検の準備を進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表会を生かして、質問やまちの人と一緒にしたいことを考えながら、準備を進めている。 <p>【関】これまでの体験や学んだことを生かして、まちの人とふれあおうとしている。(行動観察・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2回目のときより、積極的にまちの人に声をかけたがり、質問したりしている。 ・ まちの新たな事象を探したり発見したりしながら、自分の力で意欲的に探検しようとしている。 <p>【気】今までの探検を振り返り、まちの人とのかかわり方の変容に気付いている。(カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までに比べて、進んで挨拶や質問ができるようになった自分に気付いてい
----------------------	--	---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">広げ</p>	<p>4. 自分が見つけた大蔵のまちの「すてき」を 発表しよう。 [6時間]</p> <p>(1) 発表会の準備をする。 ② ・招待状を書いて渡す。 (課外)</p> <p>(2) 地域の方を招いて発表会をする。 ②</p> <p>(3) 探検マップを完成させ、校内に掲示し発信する。 ①</p> <p>(4) 探検でお世話になった人にお礼の気持ちを伝える。 ①</p>	<p>○ 写真、紙芝居、ペープサートなど、子どもの自分なりの表現方法を工夫させるようにする。</p> <p>○ 子ども同士や教師と対話したり、保護者の感想などを聞いたりしながら、一人一人の思いや気付きを引き出し、表現活動につながるようにする。</p> <p>○ 発表会では、異なる場所へ探検に行った児童でグループを編成し、発表を聞いてよいところを言ったり、質問したりする。</p> <p>○ 今までの活動を振り返ることによって、お互いのよさやがんばりを認め合い、これからの学習や生活への意欲をもつことができるようにする。</p> <p>○ 探検を振り返り、これからも地域の人々と仲良くしていこうという気持ちを高める。お礼の気持ちの伝え方は、手紙にこだわらず、自分の考えた方法でよいこととする。</p> <p>○ お世話になったまちの人へお礼の方法を考えることを通して、まちの人に感謝の気持ちや親しみをもつことができるようにする。</p>	<p>る。</p> <p>【思】発表の仕方を工夫し、相手に伝わるように、まちの人や場所のよさを伝えることができる。(発表・発表で使用したもの)</p> <p>・相手に伝わるようにするためには、どのような表現方法を工夫すればよいか、考えながら発表している。</p> <p>【思】自分が見つけたことを自分の言葉で自信をもって表現することができる。(発表)</p> <p>・探検で見つけたまちのよさや、親しくなった人々について自分なりの言葉で表現することができる。</p> <p>【気】地域の自然や施設などのよさが分かり、地域の人々や様々な場所などに関わって生活すると楽しいことに気付いている。(発表・カード)</p> <p>・大蔵のまちには、いつも見守ってくれるやさしい人たちは、すてきな場所がたくさんあることに気付いている。</p> <p>【気】活動できた自分に自信をもち、これからも大蔵のまちの人たちとかかわっていこうとしている。(作品・手紙)</p> <p>・まちの人々と話したり、いろいろな場所に行くことができたりした喜びを表現することができる。</p> <p>・まちの人たちとかかわって生活すると、楽しいことに気付いている。</p>
---	---	--	---

<p>をしてくれたよ（～と言ってくれたよ）。優しいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ○○さんが質問してくれたから、わすれていたことを思い出せたよ。よかった。 ・ 私の見つけた大蔵のまちの「すてき」を話したとき、「知らなかったよ。」とほめてもらってうれしかったよ。 ・ 質問してもらったけど、上手に答えられなかったから、また調べに行きたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分がまちの人とかかわった体験と比べながら、発言している。 ・ 探検を始める前の自分と比べて、できるようになったことを見つけたり、友達から認めてもらったりして嬉しそうにしている。 <p>○ 次時は、本時の発表を基に、3回目の探検に向けてのグループ分けと探検計画を立てることを確認する。</p>
--	---

7. 研究の実際と考察

(1) 主題に迫るための具体的な手立てについて

[手立て1]

- ・ 「ふれあうーふかめる」の学習過程に、対象と繰り返しかかわる活動を位置付けるようにする。

[手立て2]

- ・ 地域の人や対象との出会いを大切に、活動や体験を意図的・計画的に展開する。
- ・ 探検後に「お話タイム」を繰り返し行い、自分の思いや気づきを伝えることで、気づきを確かなものにし、友達の思いや気づきを聞くことで、気付いていなかったことに気付いたり、新たな発見をしたりして、学びを広げるようにする。

[手立て3]

- ・ 評価規準から「具体的な児童の姿」を想定し、学習指導計画に位置付け、評価をする。
- ・ 連続的、長期的な見取りを生かした支援とポートフォリオを使った評価の工夫をする。

(2) 研究の実際と考察

【「ふれあう」過程 大蔵川探検・みんなで大蔵の町を探検】

- 地域の人や対象との出会いを大切に、活動や体験を意図的・計画的に展開する。…手立て2



醤油を作る宇佐美さんに質問する子ども

○ 「お話タイム」を繰り返し行い、自分の思いや気づきを伝えることで、気づきを確かなものにし、友達の思いや気づきを聞くことで、気付いていなかったことに気付いたり、新たな発見をしたりして、学び

を広げるようにする。…手立て2

大蔵川探検をする子ども



「であう」過程では、1年生のときに通学路探検をしたり大蔵川や勝田公園で遊んだりした、大蔵の町での楽しい活動を振り返り、お気に入りのところを出し合い、校区地図に貼っていく活動を設定した。その際、その場所や好きな人にまつわるお話を、みんなの前で紹介し合い、校区地図に貼っていった。この活動により、「大蔵川」が一番多くの児童が好きだということが一目で分かった。そこで、大蔵川を中心に探検することにした。

「ふれあう」過程では、全員で大蔵川の中流・上流・下流と探検をし、その周辺の自然や人に目を向けるよう学習計画を立てた。川の自然や生き物だけに向いている児童の意識を、まちや人へ広げるために、探検の途中で人との出会いを意図的に仕組んだ。その結果、探検後の初めて知った場所や人などを出し合う「お話タイム」や本時のワークシートから、「宇佐美さんから醤油のことをいっぱい教えてもらいました。宇佐美さんは、すごく優しかったです。」など人とのかかわりに関する気付きがたくさん表出された。そこから、「大蔵川探検だけでも、楽しい場所やいろいろな人に会うことができたから、大蔵川以外の場所にも行ってみたいな。」という児童の思いを引き出し、みんなで大蔵の町（羽衣方面・牛山方面）の探検につなげていった。

【「ふかめる」過程 グループに分かれての探検】

- 対象と繰り返しかわる活動を位置づけるようにする。…手立て1
- 地域の人や対象との出会いを大切にし、活動や体験を意図的・計画的に展開する。…手立て2
- 探検後に「お話タイム」を繰り返し行い、自分の思いや気付きを伝えることで、気付きを確かなものにし、友達の思いや気付きを聞くことで、気付いていなかったことに気付いたり、新たな発見をしたりして、学びを広げるようにする。…手立て2
- 評価規準から「具体的な児童の姿」を想定し、学習指導計画に位置付け、評価をする。…手立て3
- 連続的、長期的な見取りを生かした支援とポートフォリオを使った評価の工夫をする。…手立て3

「ふれあう」過程での探検を基に、一人一人が興味や関心を持ったところを発表し合い、もう一度行ってみたい場所・会いたい人・知りたいこと・聞きたいことなど自分のめあてを決めさせた。

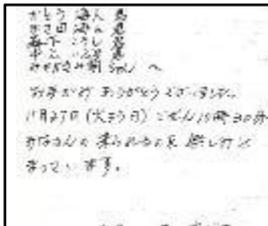
2回目の町探検では、目的地別にグループ編成を行い探検に出かけた。各グループ下のような依頼の手紙を書き、事前に持って行った。すると、電話やFAXで返事が届いた。地域の方との双方向のやりとり1回目である。児童は返事をもらい、探検への意欲を高め、探検の際に持っていく旗や名刺作り、質問内容を考えたり挨拶の練習をしたりと探検の準備を積極的に行った。児童の思いを基に探検場所を決めた結果、38名が10か所に分かれて探検させてもらった（右表参照）。探検後、質問などに親切に答えてくれた地域の人にお礼のお手紙を書きたいと言い、お礼の手紙を書いて持って行った。探検でお世話になった町の方から返事が届き、「みなさんの熱心な質問に感心しました。」「また遊びに来てください。」などと認め励ましてもらった。下記のように、子ども→地域の方との伝え合う活動を行うことで、子どもたちは、「〇〇からの返事はまだですか。いつ行けるか楽しみです。」と地域の方からの返事を楽しみにしたり、友達との交流で「〇〇ちゃんに質問された、キャベツを切る機会のことが分からなかったの、あじさいに行って聞いてきました。」などインタビューに行ったりするなど、地域の人々とかかわることの楽しさが分かり、進んで交流する姿が見られた。

【2・3回目の探検場所】

- | | |
|------------|----------------|
| ・堀口鮮魚店 | ・乳山幼稚園(2回目のみ) |
| ・あじさい | ・杉の実保育園 |
| ・泰海(2回目のみ) | ・サンキュードラッグ |
| ・大蔵交番 | ・ミニストップ(2回目のみ) |
| ・万味 | ・宇佐美醤油 |
| ・天心(3回目のみ) | ・乳山神社(3回目のみ) |



町探検の依頼の手紙



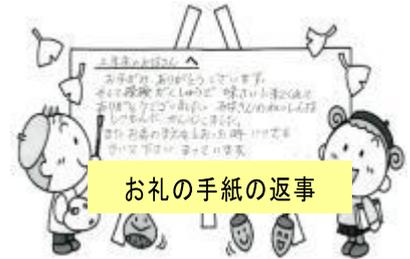
地域の方からの返事



探検での体験活動



探検後のお礼の手紙



お礼の手紙の返事

2 回目の探検後、町探検で見つけた「大蔵の町『すてき』発表会」を開き、友達と交流し合う活動を通して、大蔵のまちや人のよさ・人とかかわる楽しさ・自分や友達のがんばりなどに気付くことができるようにした。「すてき」発表会では、具体的な子どもの姿を下記のように想定し評価した。

- 【気】探検を振り返り、まちのよさやまちの人とかかわることの楽しさ、自分や友達のがんばりに気付いている。(行動観察・発言・対話・カード)
- ・ 体験や友達の発表を聞いて、町の人やよさやがんばりに気付いている。
 - ・ 友達の発表を聞いて感心したことを、具体的に発表したり、カードに書いたりしている。
 - ・ 探検を始める前の自分と比べて、できるようになったことを見つけたり、友達から認めってもらったりして嬉しそうにしている。

学 習 活 動	教師の発問 (T) と児童の反応 (C)
1. 本時間のめあてを確認する。	T: 今日が最後の発表会ですね。めあてを読みましょう。
<p>めあて</p> <p>ぼく・わたしが見つけた、大蔵の町の「すてき」を知らせ合おう。</p>	<p>T: みんなが探検に行った後、手紙を書きましたね。その手紙に返事がきました。「心のこもったお手紙ありがとうございました。みなさんが作ったお弁当本当に上手でしたよ。帰られた後、全部売り切れました。また、町探検でお勉強されるときには、万味にお立ちより下さい。万味より」</p> <p>C: あっ、万味だ。</p> <p>T: 自分が見つけた大蔵の町や人の「すてき」が伝わるように発表しましょう。</p> <p>C: それぞれの場所に行って取りかかる。…【一部抜粋】</p> <p>【泰海（中華料理屋）の発表】(T児)</p> <p>C: 泰海であった人は「中山さん」です。1番楽しくて嬉しかったことは、焼き飯をひっくり返せたことです。今から焼き飯をひっくり返すまねをします。(実演する) コツは、フライパン</p>
2. グループごとに発表をする。	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 堀口鮮魚店の堀口さん ○ 泰海の中山さん ○ あじさいの竹内さん 	

- 万味の上田さん
- 大蔵交番のお巡りさん
- サンキュードラッグの梅崎さん
- ミニストップの中野さん
- 杉の実保育園の先生
- 乳山幼稚園の先生
- 醤油屋の宇佐美さん



を前にして上にあげることです。1番難しかったことは、椅子の足を拭くのが難しかったです。探検してすてきだなと思ったことは、重いフライパンを片手で持って料理をするから、中山さんは、力持ちで、料理名人だなと思いました。

C: 質問や感想はありませんか。

C: 中山さんは、片手でフライパンを持って、料理をするからすごいなと思いました。

C: 行って見てどうでしたか。

C: 楽しかったです。

C: どうして泰海に行ったんですか。

C: 中山さんが、ぼくのおばあちゃんの友達だからです。

C: 何がすごいと思いましたか。

C: 重いフライパンを片手で持って料理するところです。

以下省略

違う場所に探検に行った3・4人でグループを編成し、ポスターセッション形式で発表を行った。上記の発言から、繰り返し発表し、質問に答えていくうちに、児童の質問内容が、理由を問うものや、発表の中身を深めるものとなっていることが分かる。また、答える児童もすごいと思う中身を「重いフライパンを片手で持って料理するところです。」や、「醤油屋さんは、坂道を登るのがきついお年寄りのために、配達もしているから優しい店だと思う。」などのように理由づけし、気付きの質の高まりが見られた。

T: 友達の発表を聞いて、どんな町や人の「すてき」が見つかりましたか。

(杉の実保育園・乳山幼稚園部分のみ抜粋)

C: M君の発表を聞いて、杉の実保育園にはかわいい、やさしい子どもがたくさんいることが分かりました。

T: (写真を指さして) この子どもたちだね。(杉の実の) O先生はどんな先生なの？

C: やさしい、時には怖い、物を作るのが上手。

T: 子どもたちがシール貼りをしていた時、M君が優しくシールを渡してあげていましたね。きっと杉の実の子どもたちも喜んでいたと思いますよ。

C: N君も杉の実保育園で、子どもたちと一緒にかるたで遊んでいたから、N君も優しいと思います。

T: 乳山幼稚園のすてきを見つけた人はいませんか。

C: 園長先生の笑い方が面白い。園長先生の絵が上手。

C: 園長先生は僕たちが幼稚園の時の、遠足・お泊り保育の時の絵を描いて見せてくれました。優しいと思いました。

C: 乳山(幼稚園)の子どもたちは？

C: 子どもたちはこけても泣かない。かくれんぼをしたとき、男の子と女の子がぶつかっても泣かなかった。

C: また来てねと言われたから、優しいと思った。

T: (二重線・下線部を指さして) 杉の実保育園も乳山幼稚園も…

C: 優しい子どもたちがいる。

T: 優しい子ども、絵や物を作るのが上手な優しい先生がいるところが、似ている「すてき」だね。大蔵の町には、「すてき」がいっぱいあるんだね。

T: 友達の頑張りが言える人。

C: Uさんの声の大きさがちょうどよかったです。

T: M君の発表を聞いて、万味に行きたくなった人はいる？

C: 多数挙手。

T: M君の発表が上手だったから、たくさんの人が万味に行きたいと思ったんだね。拍手。

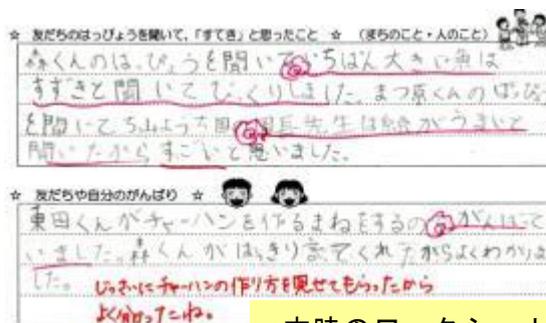
C：僕もシールを貼るところを見て、杉の実に行きたくなくなったよ。
 T：自分の頑張りや、探検する前はできなかったけど、今はできるようになったということはありませんか。
 C：今まではちらしを見せなかったけど、ちらしを見せるのを頑張った。
 C：青のりをかけるのがへただったけど、うまくできました。
 T：本当。今度見せてもらいましょう。
 C：僕は、ヴェルデコートにすんでいて、全然豊町のことを知らなかったけど、みんなで探検に行ったら豊町のことをいっぱい知りました。今度豊町におうちの人と行きたいです。
 C：探検する前は、あまり挨拶ができなかったけど、探検に行き始めて。挨拶ができるようになりました。質問もできるようになりました。
 T：たくさん友達や自分の頑張りや成長に気付くことができましたね。

授業の終末で、「大蔵の町や人のすてき」や「友達・自分のがんばり」を伝え合う場を設けた。「大蔵の町や人のすてき」を話し合う場面では、杉の実保育園の「すてき」を出させた後、意図的に乳山幼稚園の「すてき」を出させ、両者を比較して、共通する「すてき」を考えさせるようにした。そうすることで、場所は違っても、絵や物を作るのが上手で優しい先生がいること、優しい子どもたちがいることなど、共通した「すてき」があることを子どもたちに気付かせることができた。

「友達・自分のがんばり」を話し合う場面では、「M君の発表を聞いて、万味に行きたくなくなった人はいる。」と児童に尋ね挙手をさせることで、今まで自分の発表の良さに気付いていなかった子どもに、自分の頑張りや成長を気付かせることができた。また発表会の回数を重ねるごとに、工夫した児童の頑張りを取り上げることで、自分の頑張りや成長を再認識させることもできた。さらに、

「同じ校区である豊町のことを全然知らなかったが、知ることができた。おうちの人と行ってみたい。」などの自分が住む大蔵の町を再認識する気付き、「挨拶や質問ができるようになった。」という自己の成長への気付きも見られた。

右のワークシートは、本時の終末前に書かせたワークシートである。A児は、授業の中でも友達の発表をうなずきながら熱心に聞き、積極的に質問をしていた。カードからも、A児は、大蔵の町のよさに気付くことができたことが分かる。気付きの観点では十分満足できる学習状況と言える。



本時のワークシート

【「広げる」過程 探検でお世話になった人にお礼の気持ちを伝える場面】

- 地域の人や対象との出会いを大切に、活動や体験を意図的・計画的に展開する。…手だて2

グループでの3回目の探検の後、子ども達から「地域の方へお礼のお手紙を書きたい。」という声が上がったので、お礼のお手紙を書いた。下の資料はお礼の手紙の抜粋である。A児は天心（酒蔵）に行き、お店が100年以上も前から続いていることに驚き、今までのお店

③ 手立て3に対する考察

「ふれあう」では、発表会の前に教師と児童一人一人との対話を通して、気付きや感動を引き出し、共感し、気付きを価値づけていった。この見取りと支援によって、児童は表現したいことを意識し、よりよく伝えられる方法を選択して、工夫しながらまとめていった。自分なりの言葉と表現で、自信を持って伝えることができた。また、評価規準から「具体的な児童の姿」を想定することで、評価がしやすくなり、次時からの活動の支援に役立った。